

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019 年 10 月号 (第 131 号)

発行責任者 佐藤 重松



2019. 09. 25 ところざわ倶楽部まつり/同級会音頭他 懐かしの映画・鑑賞会 写真撮影 / 仲山 富夫、中島 峯生

第 13 期総会及び講演会のお知らせ

講演会は「海洋プラスチック問題が私たちに及ぼす影響」

会長 佐藤 重松

来る 11 月 22 日 (金) 新所沢公民館ホールに於いて、第 13 期ところざわ倶楽部の定期総会を開催致します。

全会員の皆様にご参加を呼びかけます。

例年、総会後に懇親会を計画し、交流と親睦を深めて頂こうと行っていました。

今回は、ミューズ大規模改修に伴い、例年の会場が取れませんでしたので、ご案内の通り新所沢公民館ホールの開催となります。この会場では飲食を伴う懇親会は不可です。従って、懇親会に代わって、講演会を企画しました。21 世紀に於いて地球規模の大問題ですが、私たちの身近な生活の中に根源があるであろう、「海洋プラスチック問題」をテーマに、専門家のお話を、一般市民の参加も含めてお聞きしたいと思います。地球環境問題に関心のある人も・ない人も、ぜひ聞いて頂きたいテーマです。

ご 案 内

総会日時 : 11 月 22 日 (金) 13 時～14 時

講演会 : 同上 14 時 30 分～16 時

講 師 : 中井 八千代氏

(容器包装 3 R 全国ネットワーク運営委員長)

会 場 : 新所沢公民館ホール

総会につきましては、12 期活動方針に照らし、今期の活動がどうであったかの報告を行い、課題とする点を含めて 13 期活動方針へ繋げたいと思います。

皆様の熱心なご参加を!!

写真で見るところざわ倶楽部まつり

第1回ところざわ倶楽部まつりは、舞台部門と展示部門で充実した内容で開催されました。舞台部門・展示部門の内、何点かご紹介いたします。
(写真撮影：仲山 富夫、中島 峯生)

【舞台部門】



チアダンス スマイルパイレーツ



環境問題講演 地球環境に学ぶ



民話／塚ノ越地蔵 民話の会



雅楽風音楽演奏 雅の会



コーラス 楽悠クラブ



朗読劇 ドラマティック・カンパニー

【展示部門】



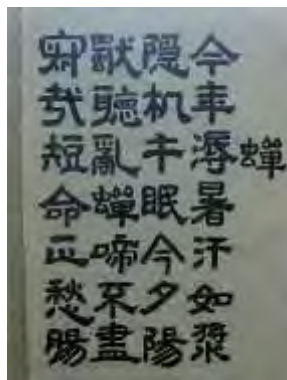
筆ペン画 湾岸の交通 大館 徹



彫刻 狂言面/とくす 多胡 國男



絵画(スケッチ) 芋 岡本 詔一郎



漢詩 七言絶句 蟬 池田 新八郎



絵画 癒 森野辰夫



生け花 隠しきれない幸 佐藤 美津子

ところざわ倶楽部 まつり参加者の声

第1回ところざわ倶楽部まつり、わっしょいしょい

ドラマティック・カンパニー 柳澤 千賀子

今年はところざわ倶楽部文化祭という名称から「ところざわ倶楽部まつり」という名称になりました。祭りと言えば、後援・協賛が付き物。何と、ところざわ倶楽部まつりにも付いていました！



一口に付いたと言ってもここまでこぎつけるには、実行委員会のメンバーをはじめ、沢山の方々の努力、協力があつての事だと思います。心から感謝いたします。そして失礼を承知で言うと、祭りの最後に大抽選会が予定されていたせいか、皆さま物欲に駆られ(もちろん私も)観客席は最後までほぼ満席状態で、多いに盛り上がりました。昨年までは観客動員数が大きな課題であったと思いますが、そういう意味では大きな成果が得られたという事ではないでしょうか。また、抽選会の前に行われた特別出演の佐井佳代子さんの講座の楽しかった事。「この歌、私達より上の世代の歌だよ」と言いながら、何故か歌えてしまうこの不思議。歌の持つ力か年齢詐称か、とにかく楽しく歌い、改めてみんなで声を出す事の良さを再認識しました。

抽選会は敗者復活でも当らなかったけれど、楽しい祭りでした。再度スタッフの方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました、そしてお疲れ様でした。

第1回ところざわ倶楽部まつりに参加して

アジア研究会 杉浦 正紀

第1回ところざわ倶楽部まつりを松井公民館ホール&ギャラリーの午後の部に参加する。今までは春に「文化祭」として行われていたものを今回は「まつり」という形で衣替えを行った。

ホールは舞台と客席が近く、より臨場感のあふれる演目を鑑賞することが出来た。

まずは「チアダンス」揃いの法被を着て、舞台せましと踊るダンスは圧巻だった。特に男性ダンサーの踊りは素晴らしく圧倒された。

次は「楽悠クラブ」によるコーラス、昔懐かしい曲がメインで昔のことが走馬灯のように頭の中を駆け巡りました。

三番目の演目は「ドラマティック・カンパニー」による朗読劇「オセロ」朗々と語る長ゼリフに感動する。

休憩後、特別出演の音楽療法士 佐井佳代子氏による

「会場いっぱいみんなで歌おう」で久しぶりに大声を出して唱歌「ふるさと」や「上を向いて歩こう」等の懐メロを昔に帰った気分で、佐井さんの言葉巧みな話法に乗せられて大いに歌う。

最後は「懐かしの映画鑑賞会」による同級会音頭を始め、炭坑節、所沢音頭等を太鼓の音色に合わせ、大勢の人が舞台に駆け上がり踊りまくる。やはり「まつり」には太鼓と踊りが付き物で大いに盛り上がった。

「大抽選会」には地元松井地区の協賛会社によるいろいろな景品が用意され私も「お米2KG」が当たりました。

展示部門は昨年同様、今年もいろんな作品が展示され、我々の目を楽しませてくれました。有難うございました。

初めての試みの「ところざわ倶楽部まつり」でしたが、素晴らしいイベントだったと思います。来年も宜しくお願ひ申し上げます。

おすすめの1冊 第4回

親を棄てる子ども達

23 期 米倉 誠一



今、人に勧めている本がある。気ままに勧めていたら、ところざわ倶楽部の編集に携わっている人から「おすすめの1冊」と言う原稿依頼があった。もう少し真面目に勧めたら！という事らしい。お受けした。でも現物が手元に無い。私の意図を汲んで2人(2冊)旅に出たが、持ち主に似るらしい。帰りを待っていたが執筆の先延ばしは性に合わない。

どう書き出せば、読む気に成って貰えるのか。先ずは専門家に他力本願。この本はタイトルが「**親を棄てる子ども達**」。2019年3月9日朝日新聞社の書評があった。下記に公開されている。

<https://book.asahi.com/article/12199966>



著者：大山 真人
平凡社新書

公開されている情報のurlだけ書いて勧めていると言うのは気まますぎる、と言われそうなのでせめて転記載する。

「高齢者人口の増加に伴って、介護や医療制度と同時に孤独死や「棄老」の現状がクローズアップされている。著者は、40年前に実母の介護に体当たりで関わり、現在は「高齢者相互扶助システム」の実践に取り組むノンフィクション作家。オレオレ詐欺に引っかかった高齢の男性が家族からの厳しい叱責(しっせき)で自殺に追い込まれたケースや、遺骨の引き取りを拒否するケースなど、家族のありようの変化と問題を指摘する。」

もう少し、他力本願。週刊朝日2019年4月19日にも平山瑞穂さんの書評があった。同じく下記に公開されている。

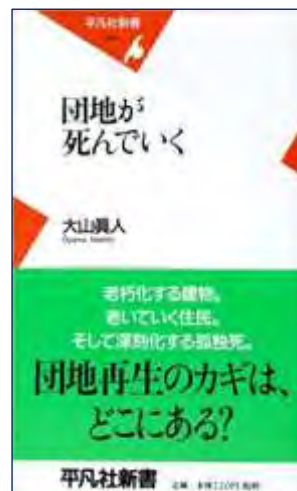
<https://dot.asahi.com/ent/publication/reviews/2019041200100.html>

「衝撃的な一冊だ。」

独居老人の孤独死などが社会問題化して久しい。それだけでなく、子を思う親心からオレオレ詐欺に遭ったのに、当の息子から馬鹿呼ばわりされて失意のあまり自殺する父親、母親が認知症と知るや、行政の窓口を一度も叩かずにいきなり施設送りにしようとする娘など、心が寒くなるような事例に事欠かない昨今。

儒教道徳の衰退と核家族化の進展、「個」の尊重などを通じて、旧来の親子関係の「濃さ」が消滅しつつあるのだ。

著者は文筆業のかたわら、「高齢者の居場所」としてのコミュニティサロンを運営している。そこでの経験を踏まえて提唱するのは、「捨てられる側の知恵」だ。「棄老」はもはや不可避の流れ。問われるのは、その中で高齢者がいかに相互扶助を実現させていくかだ。(平山瑞穂 週刊朝日2019年4月19日掲載)



著者：大山 真人
平凡社新書

この本の紹介に関して素人が出る幕じゃ無さそう。少し周辺の話を紹介したい。この本には実は前編にあたる「**団地が死んでいく**」と言う同じ著者、同じ出版社から10年以上前に出された本がある。孤独死の問題が取り扱われていて、著者(大山さん)は、その本にこれから自分が実行することを列挙している。その一つが孤独な高齢者が集えるサロンを開くこと。

「サロン幸福亭ぐるり」として所沢の並木に現在も続いている。この様な趣旨で、個人が立ち上げ、毎日開いているサロンは、所沢ではここだけでは無いだろうか？

私も大山さんの趣旨に共感して、火曜日の13時からここで、「トコロん元氣百歳体操」の手伝いをしている。

皆様、先ずはサロンで本の感想など「デンデラ野」の実現に向けて語り合いませんか？

「戦争と平和！」
第 15 回

重元 帰る

佐藤 美津子



所沢市内にて、父親の白いスプリングコートを着た重元不思議！赤い糸で結ばれていた

「宮崎重元、只今帰りました」それは大きな声で叫び、一歩家の中に踏み込みました右手の階段の下で、軍服の袖で、そ〜と涙を拭きました。父親は、やせ細って変わり果てた我が子の姿を見て、無言のまま、勝手の方に足早に行ってしまった。そこにいた母親と共に泣いていました。

母親は息子が無事に帰るようにと、近所の弁天様にお百度参りをしていました。

或日のこと。ふと、母親の心に桜の咲く頃に帰る

というお告げを感じました。

重元は小学校3年生の時、担任が授業が終わると、学校の裏山に登って、軍歌や航空隊の歌を大声でよく歌わされ、この頃から、空に対するあこがれが日増しに募っていきました。

16歳の時、親の印を盗んで入隊希望を出しました。数日後、ポストには一枚の入隊許可葉書が入っていました。待ちに待った物が届いて大喜びしたそうです。

待望の浜松飛行場に入隊して、訓練を受けました。その後、極寒の地チチハル24飛行隊に配属になり満州に行きました。

昭和20年8月終戦を境に、状況は一転し、兵隊はすべて捕虜となりました。冬はぬれタオルが瞬時に棒のようになるような地で、食べ物は無く、ボロボロの服で重労働を強いられ、飢えと寒さで死んでいく人も居ました。最後は「おっかさん」と一言言って倒れたそうです。

以下はその当時のことを記した主人の一文「思いやりの心」を転載いたします。

「私がこの苦境の中であって、辛うじて生命をつなぐことができたのは、中国人の少年に助けられたからです。その名は「孫同春」といい、この少年が乞食の姿に変装して、看守の目をごまかしては、捕虜収容所の中に入ってきて、何

回もお米や卵などを届けてくれました。なぜ、この少年が私にこのような恵みを与えてくれたのか。原因となった事は、まことにささいなものでした。それは、私が、中国三十里堡という基地で、飛行訓練を実践していた時、基地の外れで、二才ほどの女の子が泣いていたので、ポケットにあった航空用キャラメルとチョコレートを与えて慰めてやった事です。私は、この事についてすっかり忘れていました。しかし、この親切、思いやりが、中国人家族の心を打ち、しばらくの間語りあわれていたというのです。数か月後、期せずして同じ地でソ連軍の捕虜となったのですが、慰めてやった一寸した親切がその家の少年の手を通して、私の命をつなぐほどの大きな形となって返ってきたのです。父の教えでもある『思えば、思われる』の教えは、異国の地にあっても見事に効果を現したのです。この思いやりの行為は、なんらかの見返り



おとこ命の純情は燃えて輝く金の星・・・
航空隊時代の重元

をもとめようとしてやったのでは、意味がなく、思いやること自体に自分の喜びを覚えるように自然な形でやらなければならないことを、いく度かの体験を通して悟りました。さらに悟ったことは、相手のことを悪く思ったり、憎んだりしていると、言葉や行動で現さなくても相手にいやな気持ちが自然に伝わるということです。禅の『以心伝心』とは、このことだと思います。」(佐藤重元追憶集より)

やがて、重元は、日本へ帰る日が来しました。昭和22年3月25日大連を出発し、桜の咲く頃、3月30日博多港に上陸、やっと懐かしい祖国、我が家に帰ることができたそうです。その後、昭和30年に、私は重元と結婚しましたが、たいへん思いやりがあり、優しい人でした。まさに「思えば、思われる」を共に実践してきた人生だと思っています。

サークル活動報告

最近の中国情勢報告

アジア研究会
玉上 佳彦

本年2月と6月に中国に出張して感じた最近の状況について以下に報告いたします。

米中経済摩擦によって、中国の経済はさぞかし窮地に陥っているのではないかと思いつつ、現地（上海、天津、北京、江蘇省）を訪問しましたが、全くその影響は感じられませんでした。鉄鋼、石炭、石油などの国営企業の重工業分野はかなり厳しい状況のようですが、これは、



山東省威海からドイツデュイスブルクへ向かう中欧班列

米中経済摩擦の関係よりも

世界的な不況や過剰生産が原因のようです。私の専門分野である食品に関しては、高額で美味しい

食品が好まれ、好調を維持しているようです。

但し、目まぐるしい時代の変化は想像できないレベルで進んでいることも実感できます。例えば、数年前から一斉に展開されたシェア自転車は、大多数の会社が淘汰され、不良整備の自転車の墓場が各地で見られ、生き残るのは2、3社といわれています。日本より早く採用されたスマホ決済は、あらゆる分野で普及し、スマホさえあれば、現金を持つ必要がない完全なキャッシュレス社会となっています。電気自動車の普及もめざましく、充電スポットが市内各所に見られます。習近平政権が進める「一帯一路」政策は、鉄道でヨーロッパを結ぶルートが確立し、日本通運でも、昨年からのこのルートを利用してヨーロッパへの貨物輸送を開始しています。

アメリカが目の敵にしている通信大手のファーウェイは5G関連で圧倒的な強さを維持して世界をリードしつつあり、今月から既に主要都市で5Gサービスを開始しています。

地球温暖化・海洋プラスチック汚染・原発問題

地球環境に学ぶ
原田 一成

・地球の温暖化

アメリカの元副大統領アル・ゴアによる映画「不都合な真実」、「不都合な真実2」の上映会で温暖化対策の必要性とパリ協定の重要性を学んできました。

・「毎年約800万トンのプラスチックが海へ流入している」

ごみとして収集されずに、路上や地面に落ちているポリエチレンやポリプロピレンなど水より軽いプラスチックは雨で流され川から海に運ばれています。

国連環境計画は2016年、「2050年には、海を漂うプラスチックごみの重量が、海洋生物の総重量を超える」という衝撃的な試算を発表しています。

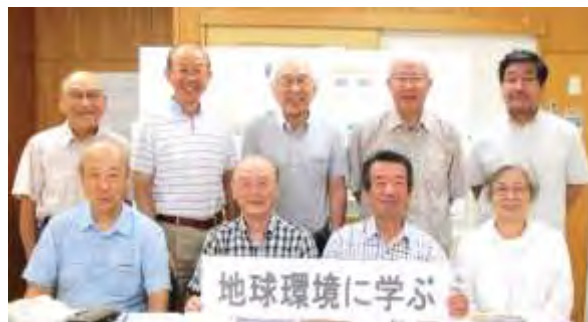
・原発問題みんなでトーク

元駐スイス大使 村田光平氏による「原発問題を語る」講演後のアンケートで原発容認・反対・現状追認等々多くの意見が浮き彫りになりました。そこで、様々な意見を自由にぶつけ合う場「原発

問題 みんなでトーク」を開催しました。ところざわ倶楽部内での初めての討論会にもかかわらず、たくさんの意見が原発問題に対する関心の高さを表していました。

・まとめ

私達は「やらねばならない事」から「やれる事」を。プラスチックは先ず削減「リフューズ(refuse、断る)」。温暖化には自然エネルギーの推進を。原発による被曝と環境破壊に注目し、今後も必要な資料を集め多くの人を巻き込んだ活動を目指したい。



地球環境に学ぶ 2019年9月度例会参加者

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

10月10日(木) 13:30~15:30 中央公民館2階6号室
竹内好夫先生講義「平家物語」第2回「海道下」と能「熊野」
(9月~12月4回シリーズ)、15:30~16:30 例会
11月21日(木) 13:30~15:30 中央公民館 第3回「平家物語」

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

10月16日(水) 13:30~16:00 中央公民館 8,9号室
定例会 米濱泰英氏による講演
「ソ連はなぜ8月9日に参戦したか」
11月20日(水) 予定 「日韓問題に関する討論会」
12月17日(水) 予定 松澤氏によるシンガポール報告

3. 活いききシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

10月23日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター 定例会
2020年度計画検討、持寄り学習
11月27日(水)13:00~15:00 生涯学習推進センター(予定)
定例会

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

10月29日(火)「チェロ演奏曲特集」
エルガー・チェロ協奏曲、カザルス演奏曲ほか
11月12日(火) 鑑賞演目未定
楽しい音楽を一緒に!!!
いずれも13:15~ 中央公民館 3階8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

10月15日(火) 場所: 飯能 飯能カルバーン 課外活動
11月19日(火) 10:00~12:00 ふらっと
玉上氏(会員)による講演会 お茶の科学&中国茶の紹介

6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)

10月22日(火) 10:00~12:00 12号地生保全整備作業: 雑草、
灌木の除伐
★作業ご希望の方、北中グラウンド西側のトトロ12号地に参集
ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

10月15日(火) 9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会: ①2020年度計画検討 ②「モルゲン明日」上映会検討
11月19日(火) 9:00~11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会: 持寄り学習 他

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

10月9日(水) 13:15~15:00 ふらっと 定例会
今年度の総括、来年度の活動方針 第3回「ひよこ塾」企画
10月12日(土)、26日(土) 13:00~ 生涯学習センター、
中央公民館 チアダンス練習日 見学大歓迎

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

10月10日(木)13:00~15:00 新所沢公民館 定例会
10月15日(火) 9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備
10月23日(水) 9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備
10月30日(水)10:00~11:30 トトロ21号地保全作業

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

10月17日(木) 11:00~12:00 中央公民館学習室8・9号
「所沢飛行場100年の歴史」16期GW発表会DVD鑑賞会
11月03日(日) 10:00~15:00 東飯能駅9:00集合~毛呂駅
「中世 毛呂氏史跡散策と出雲伊波比神社 流鏑馬見学」~所沢

11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

10月5日(土) 10:00~12:00 中央公民館7号室
10月19日(土)10:00~12:00 中央公民館7号室
いずれも シェイクスピア原作「リチャード三世」の朗読会

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

10月8日(火) 10:00~12:30 西新井町会館 洋画「ヒット・
パレード」(48年) ダニー・ケイ、ヴァージニア等
10月22日(火) 10:00~12:30~14:30 西新井町会館
邦画「キューポラのある街」(62年) 日活 吉永・浜田 等
⇒暮らしの歳時記 「十三夜・月見の宴」の開催

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

10月28日(月) 13:30~16:00
こどもと福祉の未来館・多目的室1号
フラワーアレンジメント テーマ {秋} 講師・安田好子先生
材料費¥550、身近にある花器と草木花実、鉢、ビニール袋

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

10月21日(月) 14:00~16:30 新所沢東公民館 3号
学習会「公共施設マネジメント問題」資料用意
11月18日(月) 新所沢東公民館予定
「公共交通の空白地帯問題」予定

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

10月18日(金)ところ荘にて、民話の会
11月3日(日)長栄寺にて、民話の会
11月15日(金)定例会
6校の小学校三年生の授業を担当します。
「弘法の三ツ井戸」「カヤ湯」「昔の所沢の風景」読み合わせ

理事会報告 12期第9回理事会を2019.9.9(月)開催

- ・9/10 26期生を対象にOB2団体が説明を行った。
「広場9月特別号~ところざわ倶楽部紹介」を26期生に配布。
- ・9/24-25 第一回ところざわ倶楽部まつりを実施。
- ・13期総会の日程・会場確定 11月22日(金)新所沢公民館
13:00-14:00 第13期定期総会
14:30-16:00 講演会「海洋プラスチック問題」(仮題)
今回は、会場の関係で懇親会の代わりに講演会を開催する。
- ・中村敦夫朗読劇「線量計が鳴る」を生活クラブと共催決定
2020年2月29日(土)中央公民館ホール
「原発問題時局講演」「原発問題トーク」に続き第3弾開催
- ・倶楽部年会費、広場郵送費のサークル単位集金をお願い
11/11の理事会で現金回収します。
- ※総会案内往復はがきは、サークル無所属者および26期ほか
入会希望者あてのみ郵送し、サークル会員には郵送せず、
サークル経由の会員情報をやりとりします。約3万円節約

みんなの広場 第17回

食を通して所沢を知る会
園田 ヒロ子

スパイスと私の出会い

当時（半世紀前位）フランス料理といえば、まだまだ高嶺の花の時代、なにかの記念日であっただろうか、フランス料理の食事に行く機会がありました。その時の一皿に今までに食べたことのない味わいと香りが口の中に広がり衝撃を受けました。それは今では知られているカレーの主役の「クミン」というスパイスでした。

その後すがすがしい香りを持つ「カルダモン」という香りの女王と呼ばれるスパイスに出会い、世界にはこんなに小さな一粒で、人も動かす魅力に感動しました。そして、これからはスパイスの時代が来ると思い職業にしました。

日本ではうどんに七味唐辛子、納豆やおでんに辛子、鰻に山椒があれば充分の時でしたが、世界に目を転じれば旧約聖書にもセサミンが記されています。ヨーロッパでは栽培できないものばかりで、東南アジア地域で生産されたスパイスは、シルクロードを伝わり、ヨーロッパへ運ばれ、高価なものとして金より高いものとなり、また戦争がおきたりする貴重なものです。日本には唐辛子が 1542 年に鉄砲と共に伝わりました。

スパイスは味をよくするだけでなく、抗菌作用があったり、血流をよくしたりといろいろな効能があり、とても奥深いものです。

スパイスと出会え、本当によかったと思い、これから
も携わっていきたいと思います。

むさし野俳句会（令和元年九月）作品抄

観る人も舞台の人も敬老日
二度三度水釣りてゆく鬼やんま
飯能の路地の門々芒活け
ロープウエー目指す山頂空高し
花布(はなぎれ)てふ言の葉のあり白露かな
伸び上る朝顔一輪空の色
葛飾や渡しの方かう野菊咲く
秋暑しスマホであやす胸の嬰
空を割る雷落ちて闇の街
下足番をりて老舗の新豆腐

高梨 千代
高橋 三加子
高光 泉
利根川 啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡 千鶴子

新蕎麦や両国渉る触太鼓
虫喰ひの桜紅葉をしをりとす
雨上がる路上横断蚯蚓鳴く
富士塚のほどよき高さ吾亦紅
ランドセル背負ふ子細身秋桜
停電の家並を照らせ今日の月
団子屋の包みに芒添へられし
会釈してゆづり合ふ道萩日和
月待ちの雲間に覗く土星の環



井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
鈴木 征子

《編集後記》

9日25日、ところざわ倶楽部まつりが開催されました。例年のサークル発表会や文化祭とはひと味違った企画で、ご来場の皆様には楽しんでいただけたのではないのでしょうか。ギャラリーの作品展、サークル展示、舞台発表と会員全員参加のお祭りは大成功でした。

ところざわ倶楽部は「熱い!」です。

あんなに暑かった夏も終わり、待ちに待っていた秋です。以前目に留まった市の広報に、聞く、見る、参加する、これからの「読活」とありました。読活？？最近本を開くと脇が閉じてしまう私なのですが、確かに読むだけではなく自分にあった「読活」を見つければいいのです。「広場」も会員、サークルを超えた情報が満載でまさに「読活」に最適です。

この歳になると「終活」の文字も頭をよぎるのですが、私はまだまだ「楽活」でいこうと思っています。

(岩瀬記)

川柳 四十六 作品発表 選 中島峯生

課題「面白い」

面白く仲間いるから酒すすむ
突拍子
悲喜こもこもまとめて笑う妻がいる
りんご好き
何回も旅行のことを語り合う
庵閑子
耳遠く悪口文句聞こえない
どうし
普通かなビール祭りで呑み歌い
海さとする
この歳で面白くことありやしない
縄文人

「自由句」

急な雨孫泣くよりも恐ろしい
コバエ舞う反射速度を試される
過疎の村候補者さえも来やしない
どうしよう思い出せないこの辛さ
障子アナ月の明りが覗き込む
太陽を正面に受け朝散歩

どうし
りんご好き
縄文人
鼻・鬚
突拍子
庵閑子

次回（第47回）課題「多い」そして「自由句」

締切り日：10月20日、担当中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)